

## 令和5年度 第2回 環境審議会 議事録

- 1 日時 令和5年12月11日（月）午前10時～午前11時30分
- 2 会場 豊明市役所 新館1階 会議室4,5
- 3 出席者 委員 16名出席 3名欠席  
事務局 副市長、経済建設部長、環境課長、環境課長補佐兼環境  
保全担当係長、環境保全係員、ごみ減量推進係員  
傍聴者 1名

### 4 諮問書の提出

### 5 議事 (1) 豊明市一般廃棄物処理基本計画について

### 6 議事内容

#### ■副市長 あいさつ

日頃より、環境行政にご尽力をいただきましてありがとうございます。  
環境課長だったころから、環境審議会でお世話になりましたお顔を拝見し、懐  
かしく思っております。

本日は、「豊明市一般廃棄物処理基本計画（案）」について委員の皆さまより  
ご意見を賜ります。

この計画は、ごみ処理に関する最上位計画に位置付けられており、今後10  
年間の本市のごみ処理に関する基本的な方向性を示すものです。

本市のごみの量につきしては、市民の皆さまのご協力により減少傾向が続い  
ております。今後も引き続き、ごみの適正処理、資源循環のために委員の皆さ  
まのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日はよろしく願いいたします。

#### ■諮問

副市長より委員を代表しまして島田委員へ、諮問書の提出。

#### ■会議成立

議 長 16名の委員出席で成立要件を満たしているため、審議会を開会  
する。

#### ■議事 (1) 豊明市一般廃棄物処理基本計画について

事務局 「豊明市一般廃棄物処理基本計画概要（案）」に基づき説明。

議 長 委員の意見を求める。

議 長 燃やすごみを減らし、再生率をあげようという計画。いかに家  
庭から出るごみを削減するか。それが、資源化率をあげること  
になる。

桜花学園授業の一環として、コスモスをまいた。コスモスが枯れた後、土に埋めて堆肥化するようにした。燃やさない方法を考えるのもよい方法かと思う。

事務局 会長より、基本方針につながる、ごみとするのではなくもう一度使うという意見をいただいた。

委員 井内副会長からも事前に伺っている意見がある。基本方針にある「ごみ」という表現について、資源ではないかということ。基本方針について、他にもご意見いただきたい。

事務局 排出されたごみの中に、いろいろなものが入っているのが見受けられる。本当にごみなのか、まだ使える物もあるのではないかと思う。面倒だからごみとして捨ててしまおうという方が多いのではないか。広報等でそのことを伝えようとする努力も見られるが、この計画の中でもそのようなことを盛り込んでほしい。

議長 組成調査を行うと、燃えるごみにまだリサイクルできる紙類等が2割程度含まれている。資源に出してもらえようPRに努める。計画でも「リユースの促進という」「資源分別の徹底」「多様な手段による情報の提供」をいう内容を盛り込んでいる。

委員 電化製品でも使えなくなると直すのではなく捨ててしまう方が多い。使い捨てる時代が続いているが、直したり、資源にしたりする仕組みも大切だと思う。

委員 会長のいうように農業でのごみの削減、家庭でのごみの削減など、一人ずつよくやっていることも確実にある。よくわからなくてやらない人もいる。「こういう知恵があるよ」ということを募集し、広報などわかりやすい表現で載せてほしい。自分の知恵が市民に役立つというような取組はどうか。知恵の循環につながる。

委員 生ごみを資源にして堆肥にする取り組みを以前やっていて、雇用も生まれていたが、やめた。生ごみの堆肥化をやめたことによりどのくらいごみが増え、燃やすことになったか。

委員 堆肥センターに300トンくらい生ごみが持ち込まれていたと思うので、そのくらいは増加していると思う。

事務局 資料「豊明市一般廃棄物処理基本計画（案）」P8にごみ排出量の実績が記載されている。生ごみ分別収集をやめた時、一時的に燃えるごみの量が増えたが、今は減少の状況が継続している。また、毎年組成調査を行っているので内容は把握している。施設の老朽化もあり堆肥センター及び堆肥化事業は廃止した。

今は、切り替えて、段ボールコンポストや生ごみ電動補助を始め各家庭で堆肥にしたり、乾燥させたりして量を減らすという取り組みを行っている。

委員

市の収集方法について、現状、生ごみは分けていないということか。可視化するのであれば、生ごみと燃えるごみを別々に出すようにしてはどうか。

また、小型家電は燃えないごみに入ってくるので、資源化を強化するのであれば小型家電が混ざっている場合は集めないという選択肢もあると思う。

事務局

生ごみについてだが、別々に集めるとどれだけ出ているかということが可視化できるというのは一つのご意見かと思う。現状としては、毎年組成調査をしているので、燃えるごみの中に生ごみが26%ほどであることは把握できている。(資料「豊明市一般廃棄物処理基本計画(案)」のP15) そのデータを使ってもっとわかりやすく伝えていきたいと考えている。

ごみの減量の説明会を今年度行った。今後も広く周知させていきたい。

小型家電の収集について、資料「豊明市一般廃棄物処理基本計画概要(案)」P11にあるように、引き続き回収し、リサイクルの推進を図っていきたい。

委員

コンポストについて、畑においてある大型の物は、通常の家  
庭では置く場所もない。

事務局

現在、堆肥化容器の補助を行っており、実績もある。家庭でできる電動の物も対象となっている。

委員

もっと増えるとよいと思う。

事務局

農業の話しもでていたが、それに伴うごみの処理は現状どうか。

委員

豊明市の農業はほとんど稲作である。農業からどのくらいごみが出ているのかは把握していない。

ただ、出荷できない作物を捨てるのではなくドライフードなどの加工品にしていて、捨てないようにしている。

食の安全のためJAとしては有機農業を進めていきたい。また、農業の法人化も進めていきたいと考えている。

事務局

資料「豊明市一般廃棄物処理基本計画概要(案)」P8に事業者の役割について記載している。循環につながっていく。

事務局

基本方針「ごみ…」というように記載しているが、再利用についてもうたっている。この基本方針について、ご意見いただき

たい。

委員 小学校では、落ち葉を堆肥にする取り組みをしている。小さいときの体験は、大人になったときにもつながり、大変良い。公園にそういう場所があってもよいと思う。

事務局 資料「豊明市一般廃棄物処理基本計画概要（案）」P 12に子どもへの啓発や環境教育について記載している。

委員 大根の葉やニンジンの葉を捨てている人が多い。スーパーでも切ったものを売っている。しかし、その葉にはたくさん栄養分が含まれており、料理に活用できる。ごみとして捨てるのはもったいないので、活用してほしいと思う。

委員 基本方針の「ごみ」という表現に「資源」という言葉を入れたらどうか。「ごみ＝資源」という認識が生まれると思う。

委員 「ごみ」は「ごみ」だと思う。生ごみを乾燥させる機器を取り入れた。生ごみを乾燥させることができ、ずいぶん減らせる。この基本方針の中で「ごみ」と言っているが、「資源」も含まれている。

大人は固定観念があり、なかなか考えを変えるのは難しいが、子どもは違う。小学生に教えるのは良い。具体的に授業に取り入れ、イラスト等を使ってわかりやすく伝える。調べると「ごみは、生活に伴って発生する不要なもの」と書いてある。小学生にもわかるような基本方針にした方がよい。

委員 昔は「資源ごみ」と表現していたが、現在は「資源」としている。小学生の教育に取り入れるという意見は、その通りだと思う。今も行っているが、時間が短い。もっと取り入れてほしい。子どもに伝えると、親にも伝わる。

また、生ごみを絞るだけでも減る。これをどのように広報するかが難しい。1軒ずつ回るわけにはいかないなので、アピールの仕方を考えた方がよい。

委員 今回の目標は「ごみの水分だけを取りましょう」というように、今年はそのだけをスローガンにやってみるくらいでもよい。

事務局 堆肥センターをやめる時、「重量を減らす」ということにフォーカスを当てた。行政の役割として、市民・事業者に必要な啓発活動や情報提供を行い環境教育に取り組もうということになっている。今、公園は指定管理者に管理させている。大蔵池公園では堆肥を置ける場所を作っている。また公園でイベントも行っている。そういった他のつながりを環境教育の一環として、

公園で何かするといったようなことも可能かと思った。  
昨年より剪定枝も昨年より乾かすキャンペーンを行っている。  
我々に足りていないのは、それをどのように伝えるように伝えるかということ。それについてご意見をいただけたらと思う。

委員  
委員

「乾かすキャンペーン」でもよい。しっかりやればよい。  
出前授業で小学校に出向いていると聞く。小さい子どもにもわかるように、分かりやすい言葉で伝えることが大事だと思う。  
また、ひとしぼりするといった小さなことでも、積み重ねると大分違ってくる。

委員  
事務局

絞るだけでなく、干すという方法もある。  
「絞る」ことのアイディアもいただいた。  
基本方針①について「ごみ」という表現のまま、②について「ごみ」を「資源」に、③について「ごみ」を「資源・ごみ」、④について「ごみ」を「資源・ごみ」という表現でどうでしょうか。

議長  
全委員  
議長  
事務局

それでよいと思う。  
反対なし  
それでは、事務局より連絡事項をお願いする。  
今回の審議会での内容を踏まえ、次の予定で進めていく。

1月4日～2月2日          パブリックコメント  
2月                      第3回環境審議会（答申）  
3月                      完成

議長  
事務局

それでは、本日の内容を全て終了し、令和5年度第2回豊明市環境審議会を閉会する。進行を事務局へお返しする。  
本日はお忙しいところ大変ありがとうございました。  
次回の開催は2月19日を予定している。  
また、本日の議事録につきましては委員名を伏せて作成、公開する。

< 資 料 >

- ・次第
- ・豊明市一般廃棄物処理基本計画（案）
- ・豊明市一般廃棄物処理基本計画概要版（案）